

# 1957年 大会記録

※注釈なしはフリースタイル

## 国際

### ◇米国西部選手権（3月1～2日、米国・オークランド）

▼フライ級 平田孝（法大）＝優勝、▼バンタム級 田村修（関学大）、八田正朗（神奈川県・慶応高）＝優勝、▼フェザー級 小宮佳朗（中大）＝優勝、菅原克也（日体大）、▼ライト級 小久保昌（慶大）＝優勝、▼ウェルター級 高木春雄（明大）、▼ミドル級 大平光洋（早大）

### ◇全米選手権（4月3～5日、米国・ペンシルベニア）

▼フライ級 平田孝（法大）＝優勝、▼バンタム級 田村修（関学大）、八田正朗（神奈川県・慶応高）、▼フェザー級 小宮佳朗（中大）、菅原克也（日体大）、▼ライト級 小久保昌（慶大）＝優勝、▼ウェルター級 高木春雄（明大）、▼ミドル級 大平光洋（早大）

### ◇世界選手権（6月1～2日、トルコ・イスタンブール）

▼フライ級 吉田亮治（中大）＝5位、▼バンタム級 島村保行（慶大）＝3位、▼フェザー級 本橋元一（中大）＝5位、▼ライト級 阿部一男（明大）＝3位、▼ウェルター級 黒田汎（明大OB）＝5位、▼ミドル級 永井隆（中大）＝6位、▼ライトヘビー級 山崎稔昭（専大）＝二失、▼ヘビー級 川野俊一（法大）＝二失

### ◇国際青年友好スポーツ大会（8月5～8日、ソ連・モスクワ）

▼フライ級 諏訪一三（明大）＝優勝、▼バンタム級 石沢二郎（明大）＝優勝、▼フェザー級 矢田良彦（明大OB）＝3位、▼ライト級 大倉茂男（早大）＝3位、▼ウェルター級 兼子隆（中大職）＝3位、▼ミドル級 永井隆（中大）＝4位、▼ライトヘビー級 高木春雄（明大）＝3位、▼ヘビー級 関二郎（中大）＝5位

## 国内

### ◇関東学生春季新人戦（4月20日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 二宮（中大）、▼バンタム級 安田儀信（拓大）、▼フェザー級 小塚健次（拓大）、▼ライト級 廉（法大）、▼ウェルター級 石倉（明大）、▼ミドル級 武田（中大）

**◇全日本社会人選手権（4月27日、東京・青山レスリング会館）**

《優勝者》▼フライ級 力石秀夫（東京クラブ）、▼バンタム級 大谷俊春（相模工業）、▼フェザー級 杉谷勝美（早大OB）、▼ライト級 笹原正三（協同乳業）、▼ウエルター級 斉藤八郎（山口県協会）、▼ミドル級 鳩谷治重（松戸自衛隊）

**◇全国高校選抜大会（5月3日、新潟・新潟明訓）**

《学校対抗戦》①新潟・北越商（初）、②新潟・新潟明訓、③富山・滑川、神奈川・法政二

**◇世界選手権予選（5月12～13日、青山・レスリング会館）**

《優勝者》▼フライ級 吉田亮治（中大）、▼バンタム級 島村保行（慶大）、▼フェザー級 本橋元一（中大）、▼ライト級 阿部一男（明大）、▼ウエルター級 黒田汎（明大OB）、▼ミドル級 永井隆（中大）、▼ライトヘビー級 山崎稔昭（専大）、▼ヘビー級 川野俊一（法大）

**◇西日本学生春季リーグ戦（5月23・25日・6月2日、関大）**

《順位》[1] 関学大（6季ぶり12度目）、[2] 関大、[3] 近大、[4] 同志社大

**◇関東学生リーグ戦（5月25日～6月22日、東京・青山レスリング会館）**

《順位》[1] 中大（中大は5年ぶり6度目）、[2] 明大、[3] 慶大、[4] 立大、[5] 日大、[6] 早大

**◇国際青年友好スポーツ大会予選（6月23～24日、東京・青山レスリング会館）**

《優勝者》▼フライ級 諏訪一三（明大）、▼バンタム級 石沢二郎（明大）、▼フェザー級 矢田良彦（明大OB）、▼ライト級 大倉茂男（早大）、▼ウエルター級 兼子隆（中大職）、▼ミドル級 永井隆（中大）、▼ライトヘビー級 高木春雄（明大）、▼ヘビー級 関二郎（中大）

**◇インターハイ（8月24～25日、富山・滑川市）**

《学校対抗戦》[1] 神奈川・法政二（初）、[2] 富山・滑川、[3] 東京・京北

《個人戦優勝者》▼52kg級 梅沢壤（神奈川・慶応）、▼55kg級 榊原英介（東京・京北）、▼58kg級 小磯晴彦（群馬・館林）、▼61kg級 藤田嘉雄（新潟・北越商）、▼65kg級 川口恭三（北海道・士別）、▼69kg級 小菅健司（神奈川・法政二）、▼69kg以上級 金海正直（愛知・名商大付）

**◇全日本学生選手権（9月10～11日、東京・青山レスリング会館）**

《優勝者》▼フライ級 今井清吉（慶大）、▼バンタム級 榊原弥吉（中大）、▼フェザー級 味方正宏（明大）、▼ライト級 阿倍一男（明大）、▼ウェルター級 岡田保（慶大）、▼ミドル級 永井隆（中大）、▼ライトヘビー級 高木春雄（明大）

**◇東日本学生王座決定戦（10月17～20日、東京・青山レスリング会館）** = 決勝

中大○ [6 - 5] ●明大

※中大は2年ぶり4度目の優勝

**◇国民体育大会（10月27～30日、静岡・掛川西高）**

《一般優勝者》▼フライ級 三宮駿（北海道）、▼バンタム級 諸戸祝生（大阪）、▼フェザー級 本橋元一（埼玉）、▼ライト級 笹原正三（山形）、▼ウェルター級 笠原茂（新潟）、▼ミドル級 渡辺和義（新潟）、▼ライトヘビー級 川野茂（千葉）、▼ヘビー級 川野俊一（神奈川）

《高校優勝者》▼52kg級 今泉雄策（東京）、▼55kg級 佐野栄一（東京）、▼58kg級 池田進（新潟）、▼61kg級 藤田嘉雄（新潟）、▼65kg級 椎平和信（新潟）、▼69kg級 向山勇（東京）、▼73kg級 国井元雄（宮城）

**◇全日本選手権（11月8～12日、大阪・阿倍野市体育館）**

《フリースタイル優勝者》▼フライ級 吉田亮治（中大）、▼バンタム級 浅井正（中大）、▼フェザー級 矢田良彦（明大）、▼ライト級 大倉繁男（早大）、▼ウェルター級 鈴木啓三（専大）、▼ミドル級 永井隆（中大）、▼ライトヘビー級 川野俊一（法大）、▼ヘビー級 = 出場なし

《グレコローマン優勝者》▼フライ級 平田孝（法大）、▼バンタム級 榊原弥吉（中大）、▼フェザー級 植木宏（関学大）、▼ライト級 大倉茂男（早大）、▼ウェルター級 石倉俊太（明大）、▼ミドル級 永井隆（中大）、▼ライトヘビー級 高木春雄（明大）、▼ヘビー級 = 出場なし

**◇西日本学生秋季リーグ戦（11月19～21日、関大）**

《順位》[1] 関大（2季ぶり10度目）、[2] 関学大、[3] 近大、[4] 名城大、[5] 同志社大

**◇関東学生秋季新人戦（11月23～24日、東京・青山レスリング会館）**

《優勝者》▼フライ級 田代隆（早大）、▼バンタム級 石沢二郎（明大）、▼フェザー級 吉田祐而（中大）、▼ライト級 新井田禎一（明大）、▼ウェルター級 渡辺修（日大）、▼ミドル級 石倉俊太（明大）

◇全日本学生王座決定戦（11月30日、東京・青山レスリング会館）

中大○ [8 - 1] ●関大

※中大は2年ぶり4度目の優勝